

# 西南学院史の資料(1)

塩野 和夫 委員

西南学院史の研究に着手するにあたって、資料の整理と収集、およびそれらの分析を初めとした研究が必要なことはいうまでもない。さいわい、西南学院では『西南学院七十年史 上巻』『西南学院史 下巻』(1986)を編纂するにあたって、それまでに収集されてきた史料の整理が行なわれている。それらは内容別に分類したうえで、引き出し式の35のボックスに保存された。ボックスに収められた史料を調査すると、1986年以降も内容別に分別した上で、これらのボックスに収められてきたことが分かる。これら35のボックスに整理・収容されたものが、現在西南学院が保管している西南学院史関連の基本的な史料と見てよい。

これら西南学院史関連の史料の保管状況について述べておこう。個別の史料は直接にはファイルに収められている。1つのファイルには少ないもので数点、多いものでは百点に近い史料が保管されている。ファイルの背表紙には内容に即した名称が書かれている。さらに20冊から30冊程度のファイルが1つのボックスに収められている。ボックスにも題目が書かれている。

本稿の目的はこれら西南学院史に関わる史料の概要を明らかにして、これを関係者に提示することである。この目的を達成するためには、ファイルを中心に史料群全体の概要を紹介することが適切だと思われる。そこで今回はまず、35のボックスに付けられている題目を紹介する。その上で、1から12までのボックスに収められたファイル名を紹介したい。これで、ほぼ3分の1の史料を紹介したことになる。

## 1. 西南学院史 史料の全体像

西南学院史の基本史料は35のボックスに付けられている。したがって、それぞれのボックスに記入された名称を一覧することによって、史料の全体像を概観できる。なお、「表1 西南学院史 史料保管ボックスの一覧表」には番号を付けてあるが、これはボックスの題目に付けられている番号と一致する。

表A 西南学院史 史料保管ボックスの一覧表

番号	ボックスの名称	番号	ボックスの名称
1	学院史・年表・申請許可・沿革一覧	19	大学図書館
2	財務・卒業生数・組織・役職者・退職者	20	学術研究所
3	諸規程・規程集・理事会記録	21	課外活動（学文会1）
4	月報・学院創立記念（他）	22	課外活動（学文会2）
5	土地・建物（戦前）	23	課外活動（学文会3）
6	建物（戦後）	24	課外活動（体育会）
7	ドージャー（C.K.）	25	課外活動（その他）
8	ドージャー（M.B. E.B.）	26	大学祭(1)
9	個人資料（外国人）	27	大学祭(2)
10	個人資料（日本人 A～J）	28	大学紛争
11	個人資料（日本人 K～R）	29	修養会・研修会・事務部報
12	個人資料（日本人 S～Z）	30	高等学校
13	大学（一般）	31	中学校
14	学部・学科	32	舞鶴幼稚園・早緑子供の園
15	大学院・国際交流	33	（旧制）中学部(1)
16	宗教部・電算・L.L.・体育館	34	（旧制）中学部(2) 商業学校
17	（教務課・入試課）	35	（旧制）高等学部
18	学生部（学生課・就職課）		

## 2. 西南学院史 史料の概観

西南学院史の史料を概観するために調査対象としたのは、ボックスに収められているファイルである。すでに述べた通り、ファイルには内容に即した名称が背表紙に記されている。また、収められている史料の点数には相当の差異がある。そこで、各ボックスに収められているファイルの名称を一覧する際に、それぞれのファイルに収集されている史料の点数を入れた。なお、同じ種類の史料が複数収められている場合はすべてを含めて1点とした。また、分かる範囲で史料の年代を調べ、最も古い資料と新しいものとの年代を書き込んだ。

なお、一覧表には番号を付けている。この番号は調査した時点でファイルが並べられていた順序を反映している。ただし、ファイル自体に番号が付けられているわけではない。また、ファイルは整理の際に順序がかなり入れ替わっていると推測されるので、番号と資料の並び方には必ずしも関係はない。

### (1) 「1. 学院史・年表・申請許可・沿革一覧」の一覧

ボックス1には「1. 学院史・年表・申請許可・沿革一覧」と題目が付けられている。ボックスに収められている史料はいずれも、『西南学院七十年史 上巻・下巻』の編纂にあたり、基本的な資料として用いられたものであろう。史料のほとんどはファイルに収められているが、「2 ぎょうせい見本カタログ」だけは封筒に入っている。しかし、編纂者によってボックス1に置かれた経緯を考慮して、「2」も「表1」ではファイルに収められたほかの資料と同様に扱った。

表1 「1. 学院史・年表・申請許可・沿革一覧」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1	学院史編集室史	83点、1956～1995
2	ぎょうせい見本カタログ	4点（封筒に入っている）、1980・1981
3	学校史関係資料	22点、1965～1980
4	学院史資料分類表	6点、1978～1984
5	西南学院年表	8点、1961～1986
6	古文書類目録	5点、1956・1959
7	展示会目録	4点、1964～1992
8	諸資料欠号調査	5点、1978
9	西南学院関係英文資料	30点余り、1915～1926
10	西南学院史資料	2点（冊子）、1980
11	西南学院通史	3点（『西南学院七十年史』、1986
12	西南 あのとときこのとき	10点（『西南学院大学広報』、1976～1978
13	申請許可書（戦前）	7点
14	申請許可書（戦後）	10点
15	西南学院創立	11点、1916～1970
16	西南学院沿革	4点
17	西南学院沿革	7点
18	トージャー（BM資料）	11点
19	C.K.トージャー夫人（西南学院）	14点
20	西南学院一覧（大正）	6点、1921～1926
21	西南学院一覧（昭和13）	1点、1924
22	西南学院一覧（昭和）	3点、1928・1931・1935
23	西南学院一般報告	9点、1965～1983

## (2) 「2. 財務・年表・申請許可・沿革一覧」の一覧

ここでは、ボックス2の「2. 財務・年表・申請許可・沿革一覧」に収められているファイルを扱う。史料の年代を見ると、「2」も『西南学院七十年史』編纂のため、

表2 「2. 財務・年表・申請許可・沿革一覧」の一覧表

\* 番号の項目で ( ) 内に入れた数字はファイルの通算の数である

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (24)	西南学院組織	12点
2 (25)	西南学院職制	2点、1921・1954
3 (26)	事務組織	23点、1972～1974
4 (27)	西南学院職制	5点
5 (28)	教員数推移一覧表	4点
6 (29)	財団法人並ニ学校状況調査書	3点、1936・1942
7 (30)	財産目録	1点、1940
8 (31)	予算決算	18点、1934～1971
9 (32)	経常費収支予算規模の推移・その他	10点、1945～1974
10 (33)	日本バプテスト連盟補助金一覧表	3点、1937～1974
11 (34)	給与表	27点、1973～1978
12 (35)	理事関係表	10点、1977
13 (36)	役職者名簿 (理事会)	13点、1971～1981
14 (37)	大学役職者名簿 (部長)	21点
15 (38)	役職者名簿 (事務系)	3点
16 (39)	歴代役職者一覧表	1点、1986 (『西南学院七十年史』付録)
17 (40)	役職者	17点
18 (41)	西南学院卒業生数 (昭和60年7月1日現在)	8点
19 (42)	主任・委員等	5点、1975～1980
20 (43)	役職者	9点
21 (44)	教職員名簿	44点、1940～1984
22 (45)	西南学院職員録(1)	9点 (冊子)、1956～1980
23 (46)	西南学院職員録(2)	5点 (冊子)、1980～1984
24 (47)	旧職員名簿	35点、1934～1985
25 (48)	教職員組織	5点
26 (49)	教員組織表	6点
27 (50)	在職者名 (昭和60年7月1日現在)	3点
28 (51)	作業員	1点、1980
29 (52)	大学退職者	3点

収集し整理されたことが分かる。なお、表の「番号」で、( ) 内に入れたものは史料の通算番号である。

### (3) 「3. 諸規程・規程集・理事会記録」の一覧

ボックス3には、「3. 諸規程・規程集・理事会記録」とある。ファイルの名称からも、「3」は西南学院の規程集と理事会記録が主要な史料であることが分かる。なお、史料「7 (59)」はほぼ、史料「9」と内容が重なっている。

表3 「3. 諸規程・規程集・理事会記録」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (53)	西南学院寄付行為	15点、1921～1979
2 (54)	就業規則	2点、1954・1981
3 (55)	文書規程	7点
4 (56)	西南学院職員優待内規	2点、1920・1934
5 (57)	規程 (本部)	10点、1940～1977
6 (58)	西南教育財団	8点、1935～1938
7 (59)	西南学院関係英文資料	30点余り (「9」と内容的に重複)、1915～1962
8 (60)	学校法人西南学院規定集	1点
9 (61)	学校法人西南学院規定集	1点、1964
10 (62)	西南学院規程集	1点、1983
11 (63)	学校法人西南学院規程集	1点、1985
12 (64)	西南学院規程集目次	2点、1984・1985
13 (65)	西南学院規程集追録 (1～2号)	5点、1968～1970
14 (66)	西南学院規程集追録 (3～6号)	4点、1974・1975
15 (67)	西南学院規程集追録 (7～10号)	3点、1978
16 (68)	西南学院規程集追録 (13～15)	3点、1981～1983
17 (69)	西南学院規程集追録 (新) (1～ )	2点、1985・1986
18 (70)	諸規則	60点、1941～1964
19 (71)	総員理事会記録 (大正9年6月14日～昭和20年3月17日)	79点、1920～1945
20 (72)	総員理事会記録 (昭和20年11月24日～30年2月23日)	38点、1945～1955
21 (73)	総員理事会記録 (昭和30年5月10日～40年2月24日)	36点、1955～1965
22 (74)	総員理事会記録 (昭和40年5月25日～)	5点、1965・1966
23 (75)	(封筒『学院史編纂室田口室長殿』)	2点、1967・1975
24 (76)	宗教局報告書(1)	17点、1959～1972
25 (77)	宗教局報告書(2)	18点、1973～1985

#### (4) 「4. 月報・学院創立記念（他）」の一覧

ボックス4には、「4. 月報・学院創立記念・他」とある。「3」に続き、西南学院の公やけの記録が、史料としてここに収められている。ファイルの名称からも、西南学院の月報と創立記念関連の史料がここに収められている主要な資料であることが分かる。

表4 「4. 月報・学院創立記念（他）」の一覧表

番号	ファイルの名称	資料の点数と年代
1 (78)	西南学院月報綴1号(昭和26年1月)～59号(昭和31年3月)	59点、1951～1956
2 (79)	西南学院月報綴60号(昭和31年4月)～142号(昭和38年6月)	83点、1956～1963
3 (80)	西南学院月報(1～80)(昭和26～33年)	80点、1951～1958
4 (81)	西南学院月報(81～151) (昭和33年4月～39年3月)	71点、1958～1964
5 (82)	西南学院月報(152～ ) (昭和39年4月～)	100点、1964～
6 (83)	西南学院月報(259～306) (昭和48年4月～52年3月)	48点、1973～1977
7 (84)	西南学院月報(307～366) (昭和52年4月～56年3月)	60点、1977～1981
8 (85)	西南学院月報(367～ ) (昭和57年4月～)	60点、1982～1987
9 (86)	商業学校記念碑設置設立に関する資料入袋	12点、1993・1994
10 (87)	西南学院、教育精神	19点、1938～1974
11 (88)	西南学院大学校旗	1点、1990
12 (89)	校印	3点、1958・1974
13 (90)	西南学院校歌	31点
14 (91)	不破ヒサ子(徳田ヒサ子)関係ファイル・校歌	6点
15 (92)	西南学院商業学校石碑	4点
16 (93)	西南学院商業学校校旗	9点
17 (94)	島崎赤太郎(西南学院校歌・作曲家)	12点
18 (95)	校章	9点
19 (96)	校章・資料	7点(封筒に入ってる)
20 (97)	「えはがき」	15点(2セットと13枚)
21 (98)	The Seinan(西日本新聞連載)他	42点(1986、西日本)、 9点(1984、フクニチ)
22 (99)	西南学院関係葬儀告別式表	1点、1985

表4 つづき

番号	ファイルの名称	資料の点数と年代
23 (100)	創立記念式プログラム・その他	39点、1925～1984
24 (101)	創立8周年記念	2点、1924
25 (102)	創立15周年	7点、1931
26 (103)	創立20周年	38点、1936
27 (104)	創立30周年	2点、1965・1986
28 (105)	創立35周年	2点、1951・1986
29 (106)	創立40周年	2点、1956・1986
30 (107)	創立50周年	8点、1966・1986
31 (108)	創立60周年	4点、1976
32 (109)	西南学院創立60周年記念写真展	11点、1976
33 (110)	創立記念パンフレット（冊子など）	7点、1951～1979
34 (111)	創立70周年	28点、1986
35 (112)	西南学院創立70周年記念行事報告書	1点（冊子 B5判79頁）、1987
36 (113)	創立80周年	11点、1996
37 (114)	西南学院バプテスト教会史	8点、1940・1957
38 (115)	西南学院教会	11点、1940～1982
39 (116)	福岡バプテスト教会	1点、1981
40 (117)	鳥飼バプテスト教会	9点、1976

## (5) 「5. 土地・建物（戦前）」の一覧

ボックス5には、「5. 土地・建物（戦前）」とある。ここに収められているものは、西南学院の校地を初めとした基本財産に関する史料である。

表5 「5. 土地・建物（戦前）」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (118)	大名町土地	4点
2 (119)	地行・校地	4点
3 (120)	土地・建物台帳・その他	28点
4 (121)	西新校地	30点
5 (122)	旧制高等学校部施設配置図	19点
6 (123)	西南学院建築図面リスト	1点（冊子A4判）、2002
7 (124)	赤レンガ講堂	18点
8 (125)	西南学院講堂	1点、1992
9 (126)	高等学校講堂資料・広報（75号・76号） 1986（昭和61）5・12	24点

表5 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
10 (127)	金門町校地	2点
11 (128)	鳥飼校地	8点
12 (129)	登記書類綴 その他	9点
13 (130)	施設配置図(戦前「西南学院一覧」による)	24点
14 (131)	旧制中学部施設配置図	14点
15 (132)	西南保母学院	2点
16 (133)	旧西南会館	2点、1937
17 (134)	職員住宅	12点
18 (135)	西南バプテスト神学校	2点
19 (136)	西南学院バプテスト教会	5点
20 (137)	西南学院バプテスト大学	2点、1937
21 (138)	テルベルト・グリーン	1点、1993

#### (6) 「6. 建物 (戦後)」の一覧

ボックス6には、「6. 建物 (戦後)」とある。「5」につづき、戦後における西南学院の建物など教育施設に関する史料が収められている。

表6 「6. 建物 (戦後)」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (139)	施設配置図 (戦後)	25点
2 (140)	建物平面図 (昭和59年3月)	1点 (冊子 B4判)、1984
3 (141)	百道校地航空写真2葉	2点 (封筒に写真2枚)
4 (142)	山の家	4点
5 (143)	学院本部 大学本部	10点
6 (144)	ランキンチャペル	8点
7 (145)	大学建物平面図 (年度別)	33点、1955～1980
8 (146)	西南学院大学本館増築工事	9点 (青写真9枚)
9 (147)	大学校舎	8点
10 (148)	大学図書館	12点
11 (149)	大学学術研究所	11点
12 (150)	自然科学館	12点
13 (151)	大学電子計算機センター	2点
14 (152)	大学体育館	13点



表6 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
15 (153)	学生寮	4点
16 (154)	西南会館	26点
17 (155)	合宿研究所	18点
18 (156)	カナン寮	9点
19 (157)	校舎増築、運動場、敷地拡張関係	21点、1947～1966
20 (158)	大学施設パンフレット	16点、1952～1981
21 (159)	高等学校建物平面図	10点
22 (160)	中学校建物平面図	16点
23 (161)	舞鶴幼稚園	4点
24 (162)	早緑子供の園	3点

#### (7) 「7. ドージャー (C.K.)」の一覧

ボックス7には、「7. ドージャー (C.K.)」とある。ところが、現在のボックス7に収められているのは、松井康秀の関連資料であり、その後に「C.K. ドージャー先生およびB.M. ドージャー (ドージャー夫人) の資料はスチール製保管庫の中に別置 `95. 7. 13 (伊藤)」というメモが置かれている。どのような事情があったのか。

もともとこのボックスに収められていたのは「C.K. ドージャー」の関連史料であろう。ところが、史料数が増えて収まらなくなった時、これらの史料は別の書架に移された。その後、松井康秀の関連史料を相当数確保した時に、それらが空になっていたボックスに置かれ、その際に「C.K. ドージャー関連史料」の移動を記すメモも置かれたと考えられる。

「表7」では、「松井康秀」史料の後に説明メモが置かれていること、また「M.B. ドージャー」及び「E.B. ドージャー」関連史料との連続性を考慮し、「松井康秀」関連史料の後に、「C.K. ドージャー」関連資料を記入する。

なお、( ) に書かれているものはファイル名がないことを示す。また、書架に移されたことによって、「C.K. ドージャー関連史料」には、ファイルに入っていない本なども含まれることになった。史料形態は、「史料の点数と年代」の項で分かるようにした。

表7 「7. ドージャー(C.K.)」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (163)	(松井康秀著書、叙述)	2点 (冊子と原稿)
2 (164)	(松井康秀氏増)	3点
3 (165)	(松井康秀展示資料)	1点
4 (166)	(松井康秀編著)	1点
5 (167)	基督教大衆新聞 (昭和12年号、13年号)	1点 (1冊)、1937・1938
6 (168)	(松井康秀著書)	1点 (原稿)
7 (169)	松井康秀資料	5点 (本5冊)
8 (170)	C. K. ドージャー直筆 (コピー) 説教等資料	40点、1903~1933
9 (171)	C. K. ドージャー往復書簡	多数
10 (172)	西南学院創立の前後 C. K. ドージャー夫人	1点 (英語原稿)
11 (173)	Foreign Mission Board	多数
12 (174)	ドージャー (C. K. レポート)	多数
13 (175)	Dozier, Charles Kelsey	多数
14 (176)	ドージャー (C. K. 伝記)	15点
15 (177)	荒野に呼ばれる者 C. K. ドージャーの生涯 テレビドラマ英文解説書	1点
16 (178)	C. K. ドージャー (文集)	10点
17 (179)	C. K. ドージャー関係資料 (直筆)	42点
18 (180)	C. K. ドージャーの生涯 アメリカ取材	6点
19 (181)	C. K. ドージャーの生涯	11点
20 (182)	TV「CK ドージャーの生涯」作成製作過程	12点
21 (183)	ドージャー院長の面影	1点 (フォルダ1冊)
22 (184)	西南学院の創立者CK ドージャーの生涯	1点 (1冊)、1979
23 (185)	C. K. ドージャー関係コピー	1点 (1冊)、1985
24 (186)	(フォルダ木村栄文)	4点
25 (187)	(フォルダ木村栄文)	5点
26 (188)	(フォルダ木村栄文)	1点
27 (189)	C. K. ドージャー	10点
28 (190)	(木村栄文)	1点
29 (191)	(木村栄文)	1点
30 (192)	(木村栄文)	1点
31 (193)	C. K. ドージャー先生を偲ぶ (付ご葬儀記す)	29点
32 (194)	ドージャー (B. M. 西日本文化賞)	8点
33 (195)	ミセス ドージャー (B. M. 伝記)	17点
34 (196)	Miss Mary Ellen, Watching God Work,	1点 (1冊)
35 (197)	(C. K. ドージャー)	1点

表7 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
36 (198)	C. K. ドージャーの生涯、西南・日曜日問題	多数
37 (199)	Memorial Service for Mary Ellen Wiley,	1点 (1冊)
38 (200)	C. K. Dozier, New Testament Interpretation,	1点 (1冊)
39 (201)	The Voice of one Crying in the Wilderness,	1点 (1冊)
40 (202)	C. K. ドージャー先生日記の和訳綴	1点 (1冊)
41 (203)	ドージャー院長の面影	1点 (1冊)、1934
42 (204)	SEINAN SPIRITS, C. K. ドージャー夫人	1点 (1冊)、1996
43 (205)	Charles Kelsey Dozier of Japan	1点 (1冊)、1953
44 (206)	A Golden Milestone in Japan	1点 (1冊)、1940
45 (207)	ふるさとへの道	1点 (1冊)、1956
46 (208)	The Past and Present (池野友次郎)	1点 (1冊)、1926
47 (209)	A Bird Eye View of Bible Literature	1点 (1冊)
48 (210)	西南学院創立の前後 和文英文	3点 (2冊とビデオ)

### (8) 「8. ドージャー (M.B. E.B.)」の一覧

ボックス8には「8. ドージャー (M.B. E.B.)」とある。しかし、現在ここに置かれている資料のほとんどは「E.B. ドージャー」の関連資料である。「M.B. ドージャー」の史料の多くはC. K. ドージャーの史料が置かれた書架に移されている。ただ、それらが書架に移されたという記録はない。本稿は、現在置かれている状態とボックスの題目とを尊重して、書架に置かれていたものはM. B. ドージャー関連史料であっても、「7」の一覧表に入れた。また、「8」の名称は題目にしたがった。

なお、E. B. ドージャーの関連史料の多くは、斉藤剛毅氏によって編集されたものである。

表8 「8. ドージャー (M.B. E.B.)」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (211)	Life, Work, and Contributions of Edwin B. Dozier in Japan, Gōki Saitō 1971	1点 (本)
2 (212)	E. B. ドージャー (第3便) (斉藤)	20点
3 (213)	E. B. ドージャー (第4便 I : 1) (斉藤)	22点
4 (214)	E. B. ドージャー (第4便 I : 2) (斉藤)	8点
5 (215)	E. B. ドージャー (第4便 II : 1~2) (斉藤)	26点 (1 : 14点、2 : 12点)

表8 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
6 (216)	E. B. ドージャー (第5便) (斉藤)	27点
7 (217)	E. B. ドージャー (第8便) (斉藤)	4点
8 (218)	E. B. ドージャー (第9～12便) (斉藤)	58点
9 (219)	E. B. ドージャー資料リスト (1便～12便)	7点
10 (220)	E. B. ドージャー資料II (斉藤)	2点 (2ファイル)
11 (221)	E. B. ドージャー資料III (斉藤)	4点 (4ファイル)
12 (222)	E. B. ドージャー資料IV (斉藤)	4点 (4ファイル)
13 (223)	E. B. ドージャー資料 その他 (斉藤)	26点
14 (224)	Dozier (Edwin Burke) 資料	9点
15 (225)	Dozier (Edwin Burke) 資料	43点
16 (226)	ドージャー夫人からの手紙 (斉藤)	22点
17 (227)	E. B. ドージャー死の直後 (斉藤)	9点
18 (228)	ドージャー (E. B.) 伝記	5点
19 (229)	M. E. ドージャー	8点
20 (230)	Dozier (Edwin Burke) 講義案	1点 (ファイル)

### (9) 「9. 個人資料 (外国人)」の一覧

ボックス9には「9. 個人資料 (外国人)」とある。取り上げられている外国人の多くは南部バプテスト派遣宣教師として西南学院の教育に関わった宣教師である。それ以外にも、「6 (236) S. R. ブラウン」や「25 (255) ウィリアム メレル ヴォーリス」など、日本のキリスト教や文化に影響を与えた人物などを取り上げている。

表9 「9. 個人資料 (外国人)」の一覧表

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (231)	南部バプテスト連盟宣教師	11点
2 (232)	明治37年以降 事業報告控 在日本サマソルン・バプテスト宣教師社団法人	1点 (1冊)
3 (233)	E・ペーカー	1点
4 (234)	G・W・ボールドン	44点
5 (235)	ネーサン・ブラウン	5点
6 (236)	S・R・ブラウン	2点
7 (237)	W・H・クラーク	5点
8 (238)	E・L・コーブランド	28点

表9 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
9 (239)	W・M・ギャロット(I)	14点
10 (240)	W・M・ギャロット(II)	33点
11 (241)	ウィリアム・ケアレー	22点
12 (242)	C・L・ホエリー	4点
13 (243)	エス・フランセス・フルジュム	8点
14 (244)	ゴープル (Jonathan Goble)	7点
15 (245)	ドロシー・カーバー・ギャロット	7点
16 (246)	ロイス・リネンコール・ホエリー H. R. C	1点
17 (247)	C・L・ホエリー第14代院長関係資料綴	23点
18 (248)	ジャドソン	11点
19 (249)	ドナルド・キーン	3点
20 (250)	マドレー、ダッド、トルーエット	11点
21 (251)	ジョン・モンキュア	9点
22 (252)	モリソンの演説	1点
23 (253)	J・H・ローウ J. H. R	2点 (本)
24 (254)	J・W・シェパード	3点
25 (255)	ウィリアム・メレル・ヴォーリス (William Merrell Vories)	6点
26 (256)	エリザベス・テラー・ワトキンス	4点
27 (257)	A・グレイヴス	15点
28 (258)	C・H・ミルズ、E・O・ミルズ	2点
29 (259)	ウワーン (E・N) Walne, E. N.	23点

#### (10) 「10. 個人資料 (日本人A～J)」

ボックス10には「10. 個人資料 (日本人A～J)」とある。苗字がAで始まる日本人関係者からJで始まる関係者までを取めていることになる。ところが、「15 (274) 平塚益徳」の前に「この位置にあった波多野先生関係の資料は保管室の棚へ移動した。90・2・21ヤマガタ扱」メモが入っている。そこで、「15 (274)」のファイルの後に別の吉棚に保管されている「波多野培根」関連史料を置いた。

なお、波多野関連史料には、C. K. ドージャー関連史料と同様に、ファイルに収められていないものも多くある。

表10 「10. 個人資料（日本人A～J）」

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (260)	バプテストの人々 (バプテスト誌)	24点
2 (261)	秋元勇一郎	2点
3 (262)	麻生太三郎	1点
4 (263)	馬場己三	1点
5 (264)	千葉勇五郎	13点
6 (265)	海老沢有道	1点
7 (266)	福永津義	10点
8 (267)	藤井泰一郎	7点
9 (268)	藤井政盛	6点
10 (269)	古澤嘉生	1点
11 (270)	船越栄一	31点
12 (271)	八田 薫	2点
13 (272)	原 松太	4点 (2冊の本を含む)
14 (273)	平岡規正	3点
15 (274)	平塚益徳	1点
16 (275)	波多野培根先生記念文庫目録	1点 (冊子)、1959
17 (276)	説教講演(1)表題梗概	1点 (ファイル)
18 (277)	説教講演(2)表題梗概	1点 (ファイル)
19 (278)	波多野培根胸像作成関係	3点
20 (279)	波多野培根直筆資料(1)	4点
21 (280)	波多野培根	13点
22 (281)	波多野培根 (キリストと愛国)	1点 (講義草稿)
23 (282)	波多野培根	18点
24 (283)	波多野培根 (波多野培根について)	14点
25 (284)	波多野培根	34点
26 (285)	波多野培根家系・従兄増野悦興伝	1点 (ファイル)
27 (286)	幕末の津和野藩藩校養老館の教育 波多野培根伝資料	1点 (ファイル)
28 (287)	東澤潟塾の教育 (岩国の陽明学者) 波多野培根伝資料	1点 (ファイル)
29 (288)	同志社時代の波多野培根1 関係資料	1点 (ファイル)
30 (289)	同志社時代の波多野培根2 関係資料	1点 (ファイル)
31 (290)	熊本バンド海老名弾正 波多野培根伝関係資料	1点 (ファイル)
32 (291)	波多野培根著述論文	1点 (ファイルの中無し)
33 (292)	波多野培根先生文庫目録	1点 (ファイル)
34 (293)	無述庵日誌 (昭和5.6.7.8)	1点 (日記)

表10 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
36 (294)	無述庵日誌 (昭和8.9.10.11)	1点 (日記)
37 (295)	無述庵日誌 (昭和13.14.15.15)	1点 (日記)
38 (296)	(無述庵日誌 (昭和17.18.19.20)	1点 (日記、タイトル無し)
39 (297)	波多野培根伝(1)村上寅次	1点 (製本原稿)
40 (298)	波多野培根伝(2)村上寅次	1点 (製本原稿)
41 (299)	波多野培根伝(3)村上寅次	1点 (製本原稿)
42 (300)	波多野培根伝(4)村上寅次	1点 (製本原稿)
43 (301)	波多野培根伝(5)村上寅次	1点 (製本原稿)
44 (302)	勝山餘籟 波多野培根遺文集	1点 (本)、1977
45 (303)	故高田駒次郎先生7回忌資料 1998.9	2点 (封筒に入っている)
46 (304)	泉 昭雄	2点
47 (305)	岩根典夫	1点
48 (306)	石井康一	1点
49 (307)	岩城富美子	1点
50 (308)	伊藤祐之	22点
51 (309)	伊藤俊男	17点
52 (310)	井上哲次郎	3点
53 (311)	條猪之彦	10点

## (11) 「11. 個人資料 (日本人 K~R)」

ボックス11には、「11. 個人資料 (日本人 K~R)」とある。「10」に続き、日本人関係者の史料を保管している。

表11 「11. 個人資料 (日本人 K~R)」

番号	ファイルの名称	資料の点数と年代
1 (312)	河合田鶴	9点
2 (313)	スカルの水 河合田鶴詩集	1点 (本)
3 (314)	河村幹雄	3点
4 (315)	清田正喜	4点
5 (316)	川島信義	1点
6 (317)	河野博範	12点 (1冊の本を含む)

表11 つづき

番号	ファイルの名称	資料の点数と年代
7 (318)	河野貞幹	33点
8 (319)	河野貞幹	4点
9 (320)	河野貞幹	7点 (ノート等を含む)
10 (321)	河野貞幹先生記念文集永遠の西南	1点 (本)
11 (322)	栗谷広次	3点
12 (323)	加藤弘之	4点
13 (324)	金山直晴	1点
14 (325)	古賀武夫	10点
15 (326)	近藤定次	3点
16 (327)	唐木田芳文	2点
17 (328)	木村良熙	2点
18 (329)	森 有礼	3点
19 (330)	溝口梅太郎	5点
20 (331)	松井康秀	11点
21 (332)	水町義夫昭和18年～昭和19年	1点
22 (333)	水町義夫 (告別式)	7点
23 (334)	水町義夫 I	10点
24 (335)	水町義夫 II	12点
25 (336)	三串一士	10点
26 (337)	三善敏夫	9点
27 (338)	村上寅次	21点
28 (339)	森川和子	2点
29 (340)	中村保三	7点
30 (341)	中村 弘	6点
31 (342)	中沢慶之助	2点
32 (343)	中村栄子	1点
33 (344)	中川ノブ	3点
34 (345)	太田治雄	1点
35 (346)	尾崎恵子	1点
36 (347)	尾崎源六	3点
37 (348)	岡田武彦	3点
38 (349)	尾崎圭一	6点
39 (350)	大村 匡	10点
40 (351)	大森 衛	3点



表11 つづき

番号	ファイルの名称	資料の点数と年代
41 (352)	小野兵衛	6点 (『小野兵衛教授研究資料集』を含む)
42 (353)	大平徳三	8点
43 (354)	卒業証書 村上寅次先生	2点 (証書入れと証書)

## (12) 「12. 個人資料 (日本人 S～Z)」

ボックス12には、「12. 個人資料 (日本人 S～Z)」とある。「10」「11」に続き、日本人関係者の資料が保管されている。

表12 「12. 個人資料 (日本人 S～Z)」

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
1 (355)	島崎赤太郎	13点
2 (356)	杉本勝次	20点
3 (357)	下瀬加守	8点
4 (358)	佐々木賢治	10点
5 (359)	斉藤惣一	2点
6 (360)	杉原 実	1点
7 (361)	関谷定夫	3点
8 (362)	菅野救爾	16点
9 (363)	坂本重武	23点、1929～1940
10 (364)	坂本重武 (論文)	24点、1928～1956
11 (365)	坂本重武 (ホーリー)	11点、1957～1968
12 (366)	佐渡谷重信 (日本におけるシリーズ)	9点、1966～1969
13 (367)	佐渡谷重信 (日本におけるシリーズ)	4点、1971～1973
14 (368)	佐渡谷重信	17点、1961～1970
15 (369)	澤田鉄雄	1点
16 (370)	志渡澤 亨	3点
17 (371)	斉藤惣一	1点
18 (372)	遠山 馨	6点、1958～1972
19 (373)	田口欽二	28点
20 (374)	坪井正之	2点

表12 つづき

番号	ファイルの名称	史料の点数と年代
21 (375)	竹中仲蔵	3点
22 (376)	鳥居助三	4点
23 (377)	高橋盾雄	3点
24 (380)	田中輝雄	2点
25 (381)	都築頼雄	1点
26 (382)	上野 武	1点
27 (383)	植村正久	4点
28 (384)	山本純一	2点
29 (385)	山路 基	2点
30 (386)	柳原愛祐	3点
31 (387)	山田豊秋	1点
32 (388)	熊野清樹	11点
33 (389)	山中先代	1点
34 (390)	その他履歴書	14点

## おわりに

日本に立てられたキリスト教系学校にはいずれも、深く歴史性が刻印されている。キリスト教系学校の歴史には、それに関わった人々の精神性が込められているためである。創立九十周年を迎えた西南学院も、その例外では決してない。したがって、西南学院史研究はそれを担った人々と直面し、対話し、その精神性を豊かに汲み取る作業でなければならない。同時に、それはまた、歴史学の方法論に基づいた研究的価値を有する作業でなければならない。

このような課題を担った西南学院史研究に資するため、本稿は基礎作業の一部を担うものである。

今回扱ったものは、史料全体から見ると約三分の一にあたる。それはまた内容からすると、西南学院全般を扱った史料でもあった。ボックス13以降は大学を初めとする各学校関連の史料となる。

現在これらの史料は本館Ⅱの1階に保管されている。それが2006年8月以降には別の場所に移され、史料のを並べ替えが検討されている。したがって、やがて現在の順序で整理された史料群を見ることはできなくなると思われる。そこで、現在の形で保管されている間に今回取り上げることができなかった史料についても概観をまとめておきたい。